

森～川～海をつなぐローカルSDGs

一般社団法人さがみ湖 森・モノづくり研究所 / MORIMO
代表理事 淵上美紀子

1

はじめは、相模湖の水質保全から

課題意識は水源から水源林の保全へ

株式会社 エコナノクラブ を設立
相模湖商工会との協働で洗剤の開発・販売

地球にも人にもやさしい洗剤
水源のまわりの
エコ洗剤をお届けします。

2

課題意識は水源から水源林へ

森づくりに必要なのは木材の活用
木材普及はステキなデザインから

「森づくり・モノづくり」特別コンテスト
「Utopia2011 東京大会 チェアアンティ展」参加コンペ

東京大学が主催する「Utopia2011 東京大会」は、1000人参加を予定している。2011年9月25日～29日（1日休演）のUtopia2011 東京大会の文化行事の一環として、東京大会会場・東京国際フォーラムや周辺の路上や空地、関連イベント会場付近などで様々なデザインの原寸大の「チェア」を多数展示する「Utopia2011 東京大会 チェアアンティ展」を開催予定です。

3

活動実績

2013年 任意団体 さがみ湖 森・モノづくり研究所

相模原市協働提案事業
小学校の学習机を地域材に取り替える事業(小学校3校)

2015年 一般社団法人 さがみ湖 森・モノづくり研究所

環境省 地域活性化に向けた協働取組の加速化事業
・地域材を活用した商品開発・販売、環境教育

環境省 地球環境基金
・地域材活用事業

2017年

相模原市教育委員会
・小学校の学習机天板を地域材に取替える「森の机事業」

→ 今までに延べ70校 7,500枚を提供

4

森の机事業

市内の森林伐採 → MORIMO木工所 → 小学校

- 水源涵養機能の強化
- 土砂災害の減少
- 生物多様性の保全
- CO2の吸収促進
- 地域経済の振興
- 雇用の創出
- 輸送によるCO2の排出削減
- 鳥獣被害の減少
- 小学校の天板から地域資源について学ぶ森林環境学習

短期的なコストだけではなく、SDGsの視点を持った事業展開

5

子どもたちの笑顔

6

環境教育 ～森を学び知ってもらう機会の提供～



天板交換のデモンストレーション



森林環境の座学



カエデの種の模型飛ばしっこ



日本一大きな木の幹の太さ体験

7

モノづくり+デザイン



津久井城合戦ゲーム



広葉樹の積み木



名刺 (木製シート)



スツール



子ども用椅子



生木の森の椅子



SDGs/バッジ

8

サプライチェーンの創出 ～端材の活用～

LEAD STYLE × 横浜トヨペット (アリオ橋本店)



端材



9

サプライチェーンの創出 ～ナラ枯れ材の活用～

WOOD Collection 2024 Plus (東京都主催)



10

サプライチェーンの創出 ～バタ材と間伐材の活用～

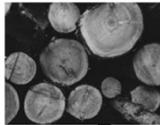
東京トイレプロジェクト
鍋島松濤公園 (隈研吾氏デザイン)



隈研吾氏



バタ材 (樹皮つき)



間伐材



11

建築家 隈研吾さんとのコラボレーション

2021年10月1日 広報さがみはら 掲載

No.1466 令和3年(2021年)10月1日 広報 さがみはら 7

さがみはら津久井産材は、いろいろな場所で活躍中!

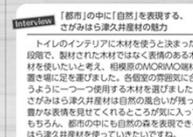
“地元産”で学ぶぬくもり
市内小学校の机天板

地域の木材を活用し、家具や木工品を製作・販売する「さがみ湖森・モノづくり研究所」では、市の委託事業として小学校の学習机の天板をさがみはら津久井産材に切り替える「木の授業」を実施。天板の取り替えとともに、天板製作や森林の役割について説明する授業も行い、「森の恵み」を次の世代につないでいます。



著名建築家・隈研吾さんが手掛ける
都内公共トイレのインテリア

渋谷区で実施されている「THE TOKYO TOILET」プロジェクト。世界で活躍する16人のクリエイターが区内公園の公共トイレをデザイン、設置してメディアでも話題になりました。その中一つ、鍋島松濤公園のトイレの内装に、さがみはら津久井産材が使われています。



オシャレなトイレで
話しかけ!



建築家・デザイナー
隈研吾さん

日本を代表する建築家・デザイナー。隈研吾建築設計事務所主宰。都立鍋島松濤公園のトイレのデザインを担当している。これまで20カ国を超える海外で建築家として活躍中。

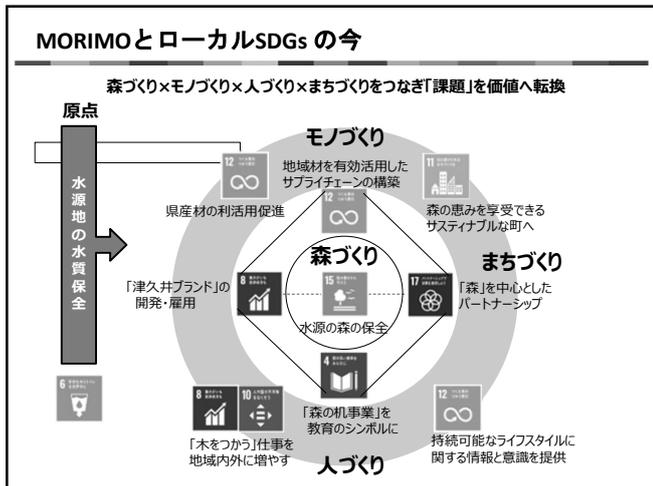
12



13



14



15